

議員インターンシップに実際に参加した学生は、議員の生活に何を見て、何を学ぶのだろうか。参加者の明治大学の疋田大さんに体験談を聞いた。

## 参加動機は政治家になりたかったから

疋田さんは今、現役の大学生ですが、ドットジェイピーの議員インターンシップに参加されたのはいつのことですか。

**疋田** 大学1年の春休みです。今2年ですから、ちょうど1年前のことになります。

どうしてこんなに早くにインターンに、しかも議員のインターンシップに参加したのですか。

**疋田** 私が小学校を卒業し、中学校に進学するときに、学区が変わりました。その学区変更の影響で、私は同じ小学校の99%が進学する中学校に行けず、別の中学校を指定されました。そのため、中学時代に小学校時代の友達がほとんどいなかったのです。さらに今度は高校進学のときに、また学区の制限のために希望する高校に行けなかった。一体どうしてこんな学区割りになっているのだろうと調べてみると、かつて市長を務められた方の政策のためだということがわかりました。

一方で、東京都立高校の場合は、学区を自由にし、その代わり各学校に特色を持たせるといやり方を実施していることも知りました。結局は政策次第で、こうした子供の教育環境が変わることを知り、高校3年のときから、将来は政治家になろうと思っていたのです。

政治家になろうと思ったときに、それなら大学に行こう、でも大学に行ったら4年間何をすれば良いのか、それが分からなかった。そこで、インターネットで議員さんのホームページなどをいろいろ調べているときに「インターンシップ受け入れます」という言葉を見つけて、議員のインターンシップがあるなら是非参加したいと思い、すぐにドットジェ

## 「議員インターンシップ参加大学生に聞く」から学んだこと



明治大学経営学部経営学科

疋田 大氏

Hikita Dai

ィピーに申し込んだ次第です。

## 学生生活の目標が見えた

議員のインターンとしての生活はどのようなものでしたか。

**疋田** インターンで実際に何をするかは、インターン先の議員次第ですが、私が参加した事務所では、常に議員に随行するという経験をさせてもらいました。2カ月間、どこに行くにも常に議員と一緒にでした。面接時に議員さんから「インターンでも学生扱いし

ない」と言われていたのですが、あるとき議員に随行していて、守衛に私だけが止められたことがあったのです。そのときに議員さんが「自分の秘書を連れてきたのに、どうして止められないといけないんだ」と強く抗議してくれて、本当に嬉しい気持ちになったのを覚えています。

インターン生活で学んだこと、あるいは役に立ったことは何ですか。

**疋田** 政治家志望の私が、これからの残る大学生活で何をすべきかが分かったというのが、一番大きいですね。またインターンシップ後は、ドットジェイピーのスタッフ活動をすれば、学生でいながら政治に関わりを持ることがわかりました。それから、議員さんが英語を話せない方だったのですが、「これからの時代、英語を話せないというのは弱点なんだよ」と言われて、学生のうちに絶対に英語を習得しようと決めました。他にも、政策担当秘書の存在がいかに大事なものであるということがわかりました。私はいずれ政治家を目指すわけですから、そうしたことも勉強しようと心に決めました。

インターンに参加することで、議員に対する見方や印象は変わりましたか。

**疋田** 一般的な民間企業のインターンでは、社長に会えることは滅多にないと思います。ところが議員インターンシップの場合は、常に社長であるボスに会えるわけですね。議員というと、少しダーティーなイメージもあり、実際嫌な面もあったのですが、最後に国会でも揉めていた重要な法案の部会審議を見る機会があって、そこで政治家としての仕事をしっかりと務めている姿を見て、政治家志望の意志をいっそう強くしました。もともと教育改革をしたかったので、被選挙権を得たらぜひ地元で立候補し、市議会議員として政治家になりたいと思います。

読者の皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

[h-bunka@lec-jp.com](mailto:h-bunka@lec-jp.com)